

第34回小牧シティマラソン応急救護



1月28日(日)パークアリーナ小牧にて、最高のマラソン日和の中、10km、5km、2kmの各種目を合わせて8,541名のランナーが参加し開催された。

ケアを含まない外傷などに対する応急救護活動として、大曾根支部から平岩 治郎、橋本 義弘、山元 雅貴、新井 根栄、大口 明良、瀬古 真吾、河邊 俊博、上田 将の8名の会員が救護スタッフとして参加した。

8時20分から準備をして、11時頃まで救護活動にあたった。活動の内容は、本部、5キロ地点、8キロ地点、9キロ地点の4地点に会員が2名ずつ待機して、救護対象者がいた場合は、各地点に準備されている、AED、毛布、携帯用酸素スプレー、テーピング、OS-1などを使用して救護をする形で行われた。体調が悪くなって途中でリタイアするランナーもいたが、大きな怪我や事故もなく無事にマラソン大会が終了した。(大曾根支部 上田 将)

昨年度はゴール地点近くの体育館で待機していたが、今年はメイン会場にブースを設けていただき参加者の目に留まりやすくなり、またアナウンスしていただいたこともあり60名と多くの方に利用していただいた。

1月21日(日)の「阿久比町健康づくりマラソン大会」は雨天のため中止となった。(半田支部 西松 信明)



鶴舞支部研修会・情報交換会

2月4日(日)午後2時半より愛整会館3Fにて研修会及び情報交換会を開催し、18名の会員が参加しました。

石田 真由美支部長の開会挨拶からはじまり、金田監事による「マイナンバーカードオンライン資格認証」進捗状況の説明を受けました。

まずポータルサイトを確認し、説明を読んだ上で、新規ユーザー登録まで行ってほしい。環境がない先生もいる為、早めに環境を整えて欲しいとの説明がありました。

保険に関する情報交換は、療養費の不支給に対する対応、患者照会、施術人数の減少、業界療養費取り扱い費が下げ止まらない等、厳しい話題が多々出ました。今後も私達はコンプライアンスを守り、保険者、医師の信頼を回復する事が大事だと痛感しました。

5時より木曾路 八事店にて新年会を開催し、昨年7月で退会された青山会員、今年4月退会される福澤会員、長年にわたり柔道に寄与された石田会員に記念品の贈呈がありました。

業界厳しいですが、支部会員の顔も笑顔で和み散会となりました。(鶴舞支部 山本 篤)



武豊町ゆめたろうスマイルマラソン

1月28日(日)好天のもと「第25回武豊町ゆめたろうスマイルマラソン」が、武豊町民会館(ゆめたろうプラザ)周辺で開催され救護ケアに参加した。6マイル、3マイル、2マイル、1マイルとファミリージョギング部門があり、2,000名近いランナーが駆け抜けた。

今回の大会は「武豊町制70周年」という記念すべき年であるため、スペシャルゲストランナーとしてマラソン元日本記録保持者の設楽 悠太氏が来場され、サイン会、握手会、記念撮影などにも参加されていた。

